

令和 5 年 度
北海道高等学校 P T A 連合会「高校生と語るつどい」事業
実 施 報 告 書

令和 5 年 1 2 月 7 日

北海道高等学校 P T A 連合会 会長 様

北海道高等学校 P T A 連合会北見支部
支部長 山野下 結衣
(当番校名 北海道遠軽高等学校)

本事業が、令和 5 年 1 2 月 3 日完了したので、次のとおり関係書類を添えて報告します。

記

1 事業実施概要

(1) 期 日 令和 5 年 1 2 月 3 日 (日曜日) 1 3 時から 1 6 時まで

(2) 会 場 北海道遠軽高等学校

(3) 実施形態
・ ワールドカフェ方式

(4) 参加者等

ア 参加学校 8 校

(校名：北見商業、北見藤、北見緑陵、置戸高校、美幌高校、網走桂陽、湧別高校、遠軽高校)

イ 参加者総数 3 6 名

生徒数	引率数	保護者数	運営者数	その他	合 計
1 5 名	7 名	7 名	7 名	0 名	3 6 名

(5) 事業内容

ア 事業の概要

若者が抱える今日的課題や将来へ向けての発展的事柄を自由に結論を求めず会話する。

イ 講師

小山内 力 氏 (元 上川町 地域おこし協力隊)

荒 田 真 紀 氏 (遠軽町経済部商工観光課 地域おこし協力隊)

高 橋 枝里子 氏 (オホーツク教育局社会教育指導班 主査)

ウ テーマ

キャリア形成と地域創生について考える

2 事業実施による成果

生徒・保護者・教員が講師の講演内容を踏まえ、設定テーマに基づいて自由に意見を出し合い、自らの人生設計や、将来への展望、また、社会の形成者となり、社会の発展に寄与することの意義について理解を深めることができた。

生徒からは「先生方や大人とこのような交流をしたことがなかったので、刺激を受けた。」「将来への可能性は、これからまだ広げることができると感じた。」等の感想があった。

また、講師や保護者の方からは、「普段は高校生と深く語り合うことがないので、良い経験となった。」「これからの活動にとっても役に立つ貴重な経験になった。」との感想があった。

